

第11次岩手県職業能力開発計画の目標の令和7年度までの成果と課題

職業能力開発の基本的施策			目標一覧 （目標達成度：A－100%以上、B－80%以上100%未満、C－80%未満） 進捗状況										
方向性	【目標】項 目	目標値	R 4 年度		R 5 年度		R 6 年度		R 7 年度		4 年間の総括		今後の方向性
			実績	達成度	実績	達成度	実績	達成度	実績	達成度	合計 達成度	達成状況と課題	
1 産業構造・社会環境 の変化を踏まえた職業能 力開発の推進	IT分野の在職者訓練の修了者数（県実施分）	167人	200人	A	182人	A	206人 123.4%	A	171人 102.3%	A	A	〔達成状況〕 需要のある分野への重点化が進んだことにより、全ての年度で目標値を上回り、合計達成度は「A」となった。 〔課題〕 受講者数は年度による増減が見られることから、ニーズに応じた講座内容の見直し・充実が今後の課題となっている。	〔継続〕 安定的な受講者確保に向けて、在職者のニーズの変化を踏まえた講座内容の見直しや充実を進める。
	在職者訓練の修了者数（県実施分）	1,880人	1,728人	B	1,774人	B	1,887人 100.4%	A	1,849人 98.3%	B	B	〔達成状況〕 企業の手不足等により、受講者の確保が難しくなっているため目標値に届かず、4年間の合計達成度は「B」となった。 〔課題〕 企業の手不足等により、受講者の確保が年々難しくなっているほか、年度による実績のばらつきが見られることから、ニーズに応じた訓練内容の見直しが課題となっている。	〔継続〕 企業の手不足の影響により受講者確保が難しくなっている状況を踏まえ、受講しやすい環境整備としてオンライン講座の活用を進めるとともに、受講ニーズに応じた訓練内容の見直しを行い、限られた受講者数の中でより効果的な訓練実施を図る。
	介護・医療・I T 分野の離職者等再就職訓練の受講者数・就職率	343人 87.2%	345名 81.9%	A B	313名 87.8%	B A	283人 82.5%	B B	386人 69.4% (R8.5.31現在)	A C	B B	〔達成状況〕 介護・医療・I T 分野の人材育成の強化等を目的とし、訓練を実施した結果、令和7年度受講者数の達成度は「A」となった。4年間の平均受講者数は331.8人、就職率は80.4%で、達成度は両方「B」であった。 〔課題〕 今後も企業及び求職者の訓練ニーズを適切に捉え訓練カリキュラムを設定し、受講者数及び就職率の増加を図っていく。	〔継続〕 介護・医療・I T 分野の人材については、今後更に需要が高まるものと見込まれることから、人材育成における訓練は引き続き必要であり、特に積極的に実施していく。また、情報分野以外の訓練コースにおいても、基礎的なITスキルを習得するためのカリキュラムを設定した訓練コースを実施していく。
	離職者等再就職訓練等の就職率（県委託訓練分）	80.0%	73.4%	B	72.5%	B	74.4%	B	73.6%	B	B	〔達成状況〕 各訓練実施機関において、企業ニーズに即した実務的なカリキュラムの提供や、就職支援を手厚く実施するなど、訓練修了後の就職につなげる体制を整えた結果、4年間の平均就職率は73.5%で、達成度は「B」となった。 〔課題〕 今後も企業及び求職者の訓練ニーズを適切に捉え、訓練規模を維持していく必要がある。	〔継続〕 関係機関等との連携強化を図り、求職者の訓練ニーズを適切に捉え訓練カリキュラムを設定し、就職に繋げていく。
2 全員参加の社会の実 現に向けた職業能力開発 の推進	障がい者委託訓練受講者数	26人	19人	C	14人	C	20人	C	14人	C	C	〔達成状況〕 多様な委託先を活用した職業訓練を実施し、就職に必要な知識・技能の習得と雇用の促進を図るための訓練を実施したが、4年間の平均障がい者委託訓練受講者数は16.75人で、達成度は「C」となった。 〔課題〕 3つの訓練コースを実施しているが、年度によって受講者数に差があるため、訓練を希望する障がい者及び障がい者雇用を目指す企業双方のニーズを把握し、訓練受講機会の拡大を図っていく必要がある。	〔継続〕 訓練受講者が多い傾向にある企業等の現場を活用した作業実習を積極的に実施するとともに、受講生の確保に向けた取組強化として、障がい者委託訓練コーチ・コーディネーターを中心に、積極的にハローワーク、地域の障がい者支援機関、特別支援学校等を計画的かつ定期的に訪問し、訓練ニーズを持つ対象者を把握・受講生を確保に努める。 また、障がい者雇用促進セミナー参加企業を中心に当該訓練を周知し、障がい者雇用への利点を伝えることで、訓練受入企業の新規開拓に努める。
	介護・医療・I T 分野の離職者等再就職訓練の受講者数・就職率【再掲】	343人 87.2%											
	離職者等再就職訓練等の就職率（県委託訓練分）【再掲】	80.0%											

職業能力開発の基本的施策			進捗状況										
方向性	【目標】項目	目標値	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		4年間の総括		今後の方向性
			実績	達成度	実績	達成度	実績	達成度	実績	達成度	合計達成度	達成状況と課題	
3 労働者の自律的・主体的なキャリア形成の推進	技能検定受検合格者数	1,345人	854人	C	902人	C	902人	C	846人	C	C	[達成状況] 合格者の大きな変動はないものの、就業者人口減少の影響及び高校生の受検候補者数が減少していること、令和4年度、令和6年度と受検手数料の減免対象者範囲が縮小されたことにより、受検者数が増加せず、連動して合格者数も伸びず、達成度は「C」となった。 [課題] 就業者人口や高校生の減少により受検者母数が縮小していることに加え、受検手数料の減免対象の見直しにより受検機会の確保が難しくなっており、受検者数の伸び悩みが合格者数の増加につながっていない。	[継続] 就業者人口の減少や高校生数の減少といった構造的な課題を踏まえながら、関係機関との連携を通じて受検機会の確保に取り組む。
	在職者訓練の修了者数(県実施分)【再掲】	1,880人											
4 技能継承の促進	技能五輪全国大会の出場者数	30人	13人	C	15人	C	14人	C	21人	C	C	[達成状況] 学生や若手社員の減少により、出場候補者となる技能者の母数が縮小していること等により各年度とも目標の30人に届かず、達成度は「C」となった。 [課題] 学生や若手社員の減少により出場候補者となる若手技能者そのものが減少しているほか、企業においては人手不足の影響から長期間の訓練や大会参加に人員を割くことが難しく、十分な育成期間の確保が困難となっている。	[継続] 学生や若手社員の減少や企業の人手不足を踏まえて、関係団体と連携しながら、企業や学校への周知を強化し、大会への参加促進を図る。
	技能検定受検合格者数【再掲】	1,345人											
5 職業能力開発施設等における産業人材の育成の推進	県立職業能力開発施設における県内に事業所がある企業への就職率	81.2%	83.7%	A	90.2%	A	86.5%	A	86.2%	A	A	[達成状況] 学生に対して、県内企業へのインターンシップ及び企業等の見学説明会を継続して実施した結果、すべての年度において達成度が「A」となった。 [課題] 県外からも多くの求人が寄せられており、賃金などの条件がより良い県外企業を希望する学生が一定数いるため、訓練科によっては、県内に事業所がある企業への就職率が目標値を下回っている。	[継続] 県内におけるものづくり人材の育成を更に推進するため、各県立職業能力開発施設の就職担当者と情報共有を行い、学生個人の興味、希望を踏まえながら県内企業との接点を増やし、興味を持って就職活動に取り組むことができるよう引き続き支援していく。
	在職者訓練の修了者数(県実施分)【再掲】	1,880人											